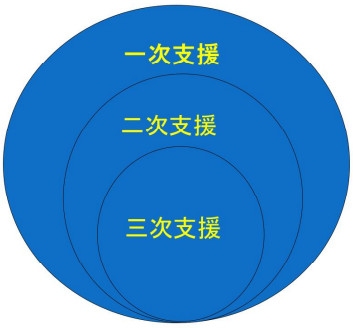
S.E.N.通信 Vol.1

クアラルンプール日本人学校
特別支援教育部

S.E.N.とは「Special Educational Needs」の略で、「特別な教育的ニーズ」という意味です。日本の特別支援教育では、特別支援学級や通級指導教室などの特別な場で学習するお子さんだけでなく、通常の学級に在籍するお子さんも含む全てのお子さんが対象となっています。

◎特別支援教育は全てのお子さんが対象です。

3つの輪の支援の輪

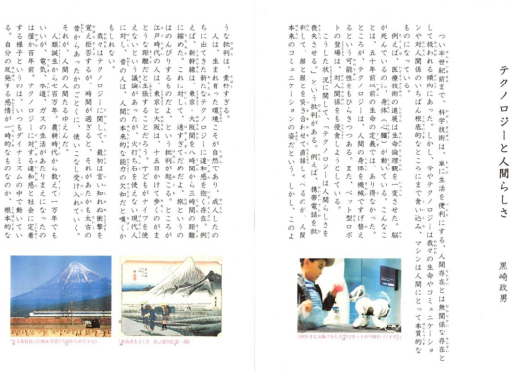


○一次支援(対象者：全てのお子さん)

・入学式等の最初の日
　要所に教員の配置があり、掲示があることで、初めての場に来た人でも迷わない配慮
・少人数での学級編成
　小学部30名、中学部25名　※日本は35名が基準
・わかりやすい授業
　ICT機器の活用、集中しやすい教室掲示
・情報伝達
　学級通信(次週の予定がわかる)、
　Class Room機能の活用(クラス全員へ)

○二次支援(対象者：学校生活で苦戦しはじめたり、これからの苦戦が予想されるお子さん)

・登校渋り
　教育相談
・日本語理解
　ルビ付き教科書をデータ配信(中学国語)
・学習に苦戦
　知能検査、認知検査のフィードバック
・情報伝達
　Class Room機能の活用(個人への連絡)


テクノロジーと人間らしさ
黒崎政男

○三次支援(全体の中での配慮では効果が不十分なお子さん)

・特別支援学級(軽度の知的障害)
　科学的根拠に基づくアセスメントを行います。
　個々の発達段階に合わせた教育課程を編成します。
　独自の教材を使います。
　同学年との交流を積極的に行います。

・通級指導教室(LD等の発達障害)
　知的には遅れはないが、認知能力のアンバランスがあるために、みんなと同じ学び方では学習効果が上がりにくい。
　行動のコントロールが難しい。
　⇒通常の学級での学習の補習をすることはありませんが、お子さんの学習スタイルに合わせて、どうしたら習得できるかの「学び方」を学習します。

・通常の学級(保護者の方や教員へのコンサルテーション)

何かございましたら、学級担任を通じてご相談ください。
特別支援教育コーディネーター　矢島徳宗、後藤勝弘